

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人
礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレインズビル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <https://cornerstone.or.jp>

f 礎の石孤児院のFacebookページを「いいね!」して活動を応援してください。



誕生日ケーキを前に嬉しそう!(カンボジア孤児院)

皆様の御支援、御協力、いつもありがとうございます。

このニュースレターが皆様のお手元に届くころには、既に終了していることと思いますが、4月17日に理事会が行われます。

5月に行われる総会に備えてのものです。今後の活動の基本路線となるもので、今後一年間の働きを決定することにもなります。

この理事会、総会を開催する度に、皆様の御支援、御協力の大きさ、有難さを思い知らされています。

特に、元気に成長していく子供達の姿を見る度に、この働きを行って良かったと思うと共に、支えて下さる皆様への感謝の思いは絶えることがありません。

これからも、さらに一人でも多くの子供達を助けることができるよう、この働きを前に進めていく所存ではありますが、ただ皆様の御協力あってのことです。

どうかこれからも、これからも皆様の御支援、御協力、何卒よろしくお願い申し上げます。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チヨムリアブスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。カンボジアでの市中感染はさらに地方まで広がっており、3月後半から全ての教育機関は休校処置が取られています。学校からは中高生達はオンラインで授業と試験も受けるようにという通知があり、現在もオンライン授業を受けているという状況です。大学に進学した1人は、4月に入ってからやっと学校側とオンライン授業を受ける為の手続きと準備が整い、授業がスタートしました。職業訓練校も現在休校で、2人が再開を待っています。カンボジアでは、18歳以上は、ワクチン接種が始まり、その他、病気の子ども達にも必要な対応がなされるよう願っています。4月はカンボジアのお正月の月ですが、感染拡大防止策として、4月に入ってから夜8時以降の外出が禁止となり、その後地方への移動も禁止されました。地方から出て来ている方々はスタッフ達を含め、今年はプノンペンで新年を迎えなければならないという状況です。ステイホームが続いていますが、お正月は子ども達が出来るだけ楽しく過ごせるようにと、スペシャルメニューを考えたりしています。



オンラインで授業を受ける子ども達

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

コロナウィルスのパンデミックが始まって1年が経ちました。子どもたちもその影響を受けています。幸いなことにダバオ市では感染者数は減って来ており、回復者数が増えて来ています。昨年、政府が全面的にオンライン授業とすると決定した時、フィリピンの人々の見方は悲観的でした。PCを持っていない子どもたちもいますし、インターネット接続が難しい地域もあるため非常に難しく思いました。しかし私達はこの中で「皆で取り組みれば難しい事は何も無い」と言うことを思わされました。

今年度の授業は、2020年の7月から始まった学校は4月30日まで、2020年10月に始まった学校は2021年8月で修了となります。皆様のご支援によって47名の就学支援生は変わりなく熱心に勉強しています。正直なところ、家庭で子どもたちの勉強を見たり、毎週決まった時間に学校に宿題や課題を取りに行き、また提出に行くのが大変だと言う保護者もいますが、子どもたちのために頑張っています。2021年度もフィリピンの子どものために皆様のご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



皆様のご支援によってオンライン授業を受けている就学支援生

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃の尊いご支援に、心より感謝申し上げます。

8月の大統領選挙が近づくにつれ、物騒な出来事も、チラホラ起きてくるようになってきました。また、物価が日々上がっている厳しい生活の中で、路上で物乞いする老人達の姿を見た時には、とても心が痛みました。孤児たちの多くは、祖父母に養われている事も多く、ひとりの老人の背後に10人もの孤児たちの姿が見える思いがするからです。

ザンビアの経済は、今後もますます悪化していきます。そんな中で、より多くの孤児たちの受け入れを可能にする、クラスルームの設置が必要となるのですが、今まで製粉場として用いられていた建物を、取崩し、立て替えることによって、40人以上の収容が可能になりそうです。もちろん、建設費、教師の増員費、給食費等の課題もあるのですが、できる限り早い時期にそれが可能になるように願っています。また、前回もお伝えさせて頂いたスティーブンとテリースの専門学校の学費が、あと4万2千円で満たされます。5月開校なので、時間が限られているのですが、引き続きご協力を心からお願い致します。



困難にもめげず、進学を目指すテリース(左)とスティーブ

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をいつもありがとうございます。3月16日にブラジルに戻る予定でしたが、まだ日本にいます。ブラジルでは新型コロナウイルスの感染拡大が深刻な状況で、24時間で新規感染者数が10万人、死者数が4千人をこえ、ブラジル全国27州のうち16州で医療崩壊が起きています。サンパウロ州内陸部グアララベス市の公立病院で働いている、私の知人の看護師さんによると、「自分の身の周り、誰も彼もが感染している。どうか今は皆が家に留まってほしい」と危機感を強めておられています。しかしワクチンの接種も

進んでいて、国民の12%以上が一度目のワクチンを接種し終わったとのことで、収束へと望みを持っています。私はブラジルの永住権を持っていますが、IDカードがちょうど切れて、ブラジルに戻って手続きしなくては行けないかと思いましたが、連邦警察のホームページが進化していて、オンラインで完了しました。また同州アラサトゥーバのアパートの家賃の支払いのため、初めてブラジルに送金しましたが、不動産屋さんから受け取ったとの確認を受けました。変化してきている時代の中、なすべき働きを全うできますよう、皆様のさらなるご支援をどうぞよろしくお願い致します。



自宅近くの桜と菜の花